

# 東京鋼鐵工業株式会社

事業内容：オフィス環境製品の製造・販売、設計、デザイン、コンサルティングの他、学校・医療などの仕器の製造販売、防音パネルなど幅広い商品を展開する。

創業：72年



代表取締役会長 田辺 恵一郎さん

## ■経営の道のりでぶつかった壁やそこで学んだことをお教えてください。

バブル崩壊の時期は、自社に限らず日本全体が大変な時代だったかと思います。

そういった時代に思い知らされたのは「好調な時こそ危機の始まり。大変な時こそチャンス of 始まり」だということです。

私が社長に就任した時、営業所が10か所以上ありましたが、バブル崩壊の影響で、一つずつ営業所を閉鎖していかなくてはならなくなりました。

その際に、社員の人生を不安にさせて申し訳ないという気持ちで一つ一つの営業所を尋ね、説明に回る中で二度とこんな思いはしたくないと決意しました。

それからは、迷ったら人は採るな、その人の人生を最後まで見ることが社長の責任だということを実感しました。

人は使い捨てではない。その人の人生をお預かりしたという気持ちを戒めにしています。

## ■従業員に対するマネジメントという面で、工夫されている点や、大切にされていることはございますか。

日本の政治や経済のリーダーシップを取っている人たちに欠けているものがあると思っています。

それは、「民(たみ)の生業(なりわい)を理解していない」「第一線のことをわかっていない」ということです。

私はありがたいことに大学院を卒業した後、工場に働くことになりました。そこで、100トンのプレス機を降ろす作業に対して50円しか稼げない生業に触れ、カルチャーショックを受けました。

自分にやれと言われても出来ることではない。その仕事に対して感謝と尊敬の念が生まれ、「これをわからずにして、社長は務まらない」と思いました。

社員と接する時は、「働いて頂いている」という気持ちを持ち続けています。

## ■地域との向き合い方についてどのような考えを持っていますか。

地域の一員として地域貢献は当たり前で、地域のために何が出来るのかを考えなければなりません。

してもらふことばかりを考えるのではなく、産業人であれば、自分なら何が出来るかを考える必要があります。例えば、商店街の清掃を週に一回でも良いので分担して行うなど。

そうして街がきれいになり、地域価値が向上することで、良いお店も集まります。そうすると、良い人が集まり消費金額も増え、地元での人材採用にも繋がることとなります。

こうした地域の正のスパイラルを作ることがとても重要です。

そういった、地域はすごく楽しくて良いところだということを行政と一緒に協力して進めていく必要があると思います。



当社の製造工場の様子